

2026年3月18日
南海電気鉄道株式会社

紀ノ川駅のバリアフリー化・跨線橋美装化工事が完了！ 3月25日(水)からエレベーターの供用を開始します

南海電気鉄道株式会社（社長：岡嶋 信行、以下「南海電鉄」）では、南海本線 紀ノ川駅のバリアフリー化工事および跨線橋美装化工事を完了し、3月25日（水）午前9時から新設したエレベーターの供用を開始します。

本整備では、上り・下りホームを結ぶ跨線橋にエレベーターを設置するとともに、スロープの勾配をゆるやかにするなどのバリアフリー化工事を行い、ご高齢の方や車いすをご利用のお客さまをはじめ、誰もが利用しやすい駅環境を整備しました。

また、あわせて跨線橋の美装化工事を行いました。駅名である「紀ノ川」をイメージし、明るく開放的で親しみやすい駅空間へと生まれ変わりました。



新設したエレベーター



美装化した跨線橋通路の外装

■リニューアル概要

1. バリアフリー化による利便性向上

(1) 供用開始

エレベーター：2026年3月25日(水)午前9時

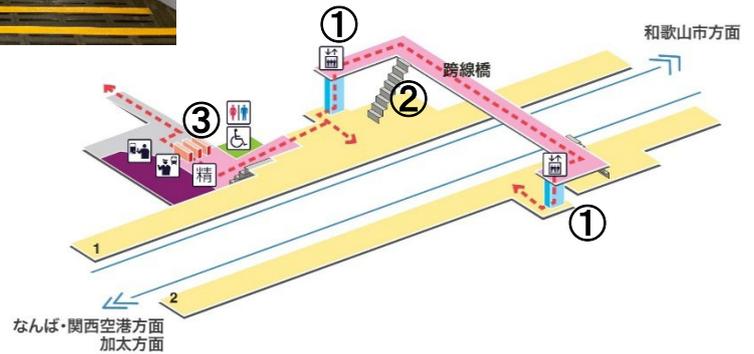
※美装化工事を含むその他の整備箇所（スロープ等）は先行して供用を開始しています。

(2) 整備内容

車いすやベビーカーをご利用のお客さま、ご高齢の方などの移動の安全性・利便性の向上を図るため、以下の整備を実施しました。

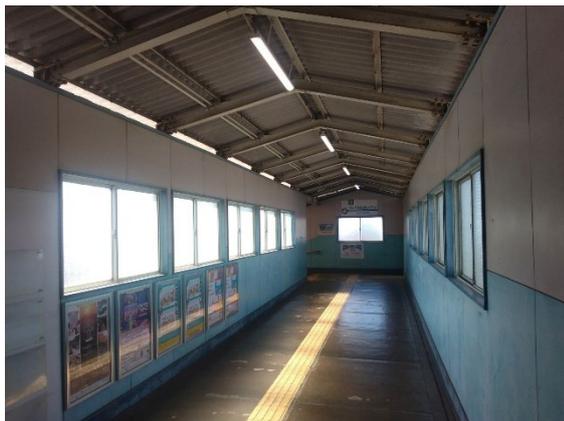
- ・上り、下りホームを結ぶ跨線橋にエレベーターを新設
- ・スロープの勾配をゆるやかに整備
- ・階段の段差部分に安全性と視認性を高める黄色いラインを設置

- ・階段の両側に2段の手すりを設置
- ・幅広の改札機を設置
- ・車いすのお客さまが券売機に近づきやすいように券売機の足元にスペース(蹴り込み)を設置
- ・手で触れて確認できる案内板を設置



2. 跨線橋の美装化

跨線橋の内外装は、地域を象徴する紀ノ川をモチーフとしました。特に天井は、シルバーを基調としたルーバーにホワイトのラインを配し、流れが絞られ、やがて広がっていく紀ノ川の様子を抽象的に表現しています。また、わずかな非対称性を取り入れることで、治水の歴史を重ねながら地域の暮らしを支えてきた紀ノ川の雄大さと奥行きを感じられるデザインとしました。



Before
(跨線橋の内装)



After
(跨線橋の内装)

以上